

平成25年度第2回流山市環境審議会議事概要

日時

平成25年8月26日(月)15時00分～16時30分

場所

流山市役所第1・第2委員会室

出席委員

赤坂郁美委員、秋元五郎委員、足原英二委員、金森有子委員、朽津和幸委員、新保國弘委員、中大路早智江委員、宮原久子委員、矢野光明委員、吉永明弘委員、和田登志子委員、和田まつゑ委員

傍聴者

なし

事務局

飯泉環境部長、染谷環境政策課長、田中放射能対策室長、遠藤副主査、岩田主事、小山内事務員

議題

1. 第2次環境基本計画策定について（諮問）
2. 議事
 - (1) 流山市環境基本計画策定事業業務委託プロポーザルについて
 - (2) 策定部会の発足について
 - (3) 部会日程について
 - (4) その他 まちなか森づくりプロジェクトについて

資料

- | | |
|-------|-------------------------|
| 資料1-1 | 会社概要 |
| 資料1-2 | 企画書 |
| 資料1-3 | 提案説明資料 |
| 資料2 | 策定部会の発足について |
| 資料3 | まちなか森づくりプロジェクト植樹予定場所の地図 |

議事概要

(事務局)

定刻になりましたので、ただいまから、平成25年度「第2回流山市環境審議会」を開会します。

司会進行を務めさせていただきます、環境政策課・遠藤と申します。

本日は開会に先立ちまして、井崎市長より貴審議会への諮問を行います。

～井崎市長が諮問書を朗読し新保会長へ～

(事務局)

ここで井崎市長からご挨拶申し上げます。

～市長挨拶～

(事務局)

ここで市長は公務の都合により退席させていただきます。

～市長退席～

(事務局)

会議を再開します。

本日は会議傍聴の申し入れはございません。

それでは、流山市環境審議会、新保國弘会長にご挨拶をいただきます。

～新保会長挨拶～

(事務局)

それでは議事に入りたいと思います。ここからの議事進行については、会長にお願い致します。それでは、新保会長よろしくお願いたします。

(会長)

本日の出席委員は12名です。流山市附属機関に関する条例により、定足数に達しておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。

本日の議事は、お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。

議事(1)は「流山市環境基本計画策定事業業務委託プロポーザルについて」です。事務局の説明をお願いします。

(1) 流山市環境基本計画策定事業業務委託プロポーザルについて

(事務局)

～資料1-1、1-2、1-3に基づき説明～

(会長)

ご質問、ご意見はあるか。ここで出た意見は、契約候補事業者に審議会の意向として伝えるものなので、忌憚のない意見をお願いしたい。

(委員)

企画書の7ページに「安全確保」を目指すという文言があるが、放射能問題はここに一括して入るものなのか。ひとつの項目として「放射能問題」を扱うべきではないか。

(事務局)

放射能問題については例えば福島と流山では状況が異なる。触れないわけにはいかないが、項目立てを行うかなど、どの程度盛り込むかは部会や審議会のご意見を伺いたい。

(委員)

思井福祉会館の裏の森でマンションの計画がある。昔からある森を切るのはいかがなものか。生物多様性戦略に思井の森も位置付けて残すべきだったのではないか。

(事務局)

思井の森については生物多様性戦略策定の部会で審議されたが、既に区画整理による事業計画が決定していたため、重点区域から外した経緯がある。今後の計画の見直しの中では、重点区域を広げることやネットワーク化を進めていく検討は必要と考えている。

(委員)

環境の教育を重点的にやった方が良い。もっと大きく取り上げるべき。

(事務局)

もつともであり、次代を担う次の世代への環境に関する啓発には市も力を入れている。より良い方策をお聞きしながら第2次計画で取り入れていきたい。

(委員)

他分野との協力、連携について確認したい。都市整備は環境と密接に関わる分野だが、どのように連携を図っていくのか。都市整備の条例や施策に影響を与えるような計画にならないと力が弱いのでは。

(事務局)

最近、千葉県がヒートアイランド対策の計画を発表した。ヒートアイランド対策は、都市緑化など他分野にも関連する事業であり、このように、横串を通

して進める課題を抽出していけるとよい。都市整備や防災とも連携が取れるようにすることは計画策定にあたってひとつの課題である。

(委員)

生物多様性の重点区域として利根運河が挙げられている。利根運河は他の市域にもまたがっているが、計画としてどのように踏み込んでいくのか。隣接する自治体の計画でどう位置付けられているか認識しているか。

(事務局)

利根運河は野田市、柏市と隣接しているが、そのような場所において、生物多様性は周りの自治体と協力しなければ保てない。その観点から、周りの自治体と連携をしながら保全をしていくという希望を持って、流山市でも利根運河を拠点として位置付けている。また、国土交通省江戸川河川事務所の利根運河協議会で、利根運河の保全のあり方や活用の仕方を他市と連携して協議している。

(委員)

市民・事業者との連携について。実行可能な計画として、どのように広めていくかが重要。学校や社会教育に繋がっていくような方策の見通しに触れておく方が良い。実行計画では触れていると思うが、基本計画でも触れることが望ましい。

(事務局)

計画を作って終わりではなく、実現するためにどのようなことが必要であるかを想定しながら計画を作ることが重要である。実効性のある計画とするためにはそのような見通しは必要である。

(会長)

受託事業者には、地域資源の洗い直しをして、どのようなものがあるのかリストアップをしてほしい。いわゆる狭義の「自然」だけではなく、歴史的、文化的な面も含めた人文科学的な意味での「自然」の捉え方も必要ではないか。自然だけでは興味を持つ市民は限られるが、歴史や文化の側面から自然を見ることで広範囲の市民が興味を持つことが期待できる。広義の「自然」として捉えることを基本計画に含めていけたら良い。

(2) 部会の発足について

(事務局)

～資料2に基づき説明～

(会長)

事務局から求められた、5名の委員の部会参加の了承について異議はあるか。

<異議なし>

(会長)

部会委員となる5名の委員には一言ずつご挨拶をお願いしたい。

～中大路委員、和田委員、秋元委員、吉永委員、新保会長の順に挨拶～

(会長)

部会長及び副部会長を選出するため、部会委員の方は廊下のソファにお集まり頂き、互選をお願いしたい。

～10分間の休憩を取り、その間に互選により部会長・副部会長を選出～

(会長)

部会長・副部会長が決定したのでご報告する。部会長には吉永委員、副部会長には和田委員が選出された。一言ずつご挨拶をお願いしたい。

～部会長挨拶～

～副部会長挨拶～

(3) 部会日程について

(事務局)

～説明～

(会長)

次の部会の日程は9月下旬、審議会は10月中旬ということでよいか。

(事務局)

よい。詳細については、事業者と打ち合わせ後メール等で調整を行う。

(4) まちなか森づくりプロジェクトについて

(事務局)

～資料3に基づき説明～

<質問・意見なし>

(会長)

以上で本日の議事は終了する。